



若年女性の乳がんに関するグローバルコンソーシアム

若年女性の乳がんに関するグローバルコンソーシアム (Global Consortium for Breast Cancer in Young Women : GCBCYW) は、背景が多様な若年女性の乳がんと密接な関係がある問題を主として扱う、現在発展過程にある国際的な組織である。GCBCYW は、世界の多くの地域で若い女性の乳がん発生率が上昇している問題に取り組むべく、協同研究により解決策を考案することで、がん関連の施設、大学および関連組織の戦略的な目標を達成しているところである。

ビジョン：世界各地の主要ながん関連施設やその他の組織との協同体制をつくりながら若年女性の乳がんを闘う。

ミッション：最先端のトランスレーショナルリサーチ、学術的プログラムの共有、早期発見やセルフブレストケアに関する意識向上や教育の推進を通し、乳がんの細胞レベルでの理解を深める。

以下は、若年女性の乳がんと共に闘う GCBCYW の国際的パートナーである。

Cancer Research Institute, Himalayan Institute of Medical Sciences, Swami Rama Himalayan University (スワミ・ラマ・ヒマラヤン大学ヒマラヤン医科大学がん研究所/インド・デヘラドゥーン)

Lisbon Academic Medical Centre, Lisbon, Portugal (リスボン学術医療センター/ポルトガル・リスボン)

京都大学大学院医学研究科・医学部 (京都)

Advanced Centre for Treatment, Research and Education in Cancer, Tata Memorial Centre (タタ・メモリアルセンターがん治療・研究・教育最先端施設センター/インド・ムンバイ)

Rajiv Gandhi Cancer Institute and Research Centre (ラジブ・ガンジー癌研究所・研究センター/インド・ニューデリー)
Team Shan (チーム・シャン/カナダ・ハンツビル)

Young Survival Collation (ヤングサバイバルコレクション/米国ニューヨーク)

背景および目的

がん医療はこの数十年にわたって進歩し続け、女性の乳がんの早期診断を大幅に向上させ、有効な介入と治療を可能にしている。しかしながら、そのような成果を上げながらも、40歳未満の若い女性の乳がんに対応できているとは言えない。インド、米国、日本、ポルトガルなどの国々では、若い年齢層の女性での乳がんが増えている。一般に、若年女性における乳がん (breast cancer in young women : BCYW) の予後は、高齢患者 (閉経前女性および閉経後女性のいずれの場合も) に比べて危険性が高い。このようにリスクが高いことは、おそらく、BCYW の根底にある病理生物学と上流の原因因子の理解が不十分であることによるものと思われる。この疾患の素因として疑わしい遺伝子を有する若年女性で乳がんのリスクが高い約 12~15% の例を除けば、概して若年女性は公共の乳がん検診計画の対象から除外されている。

ほかの年齢層における乳がんとは対照的に、BCYW 患者の場合、治療の意思決定、予後、サバイバーシップ、治療に関連した妊孕性の問題、キャリア、感情面、経済面、社会とのつながりなどの諸事情において、この疾患に特有の課題を抱えている。この課題に取り組むにあたり、本組織の主たる創設者である Rakesh Kumar (ラケッシュ・クマール) 教授の研究グループでは、グローバルな協同研究のアプローチを採ることは、若年女性における乳がんに関する科学的知見と一般市民の意識向上にとって大いに得るものがあるとの認識に至った。このような理由から、同グループは GCBCYW を設立した。本組織は、トップクラスの腫瘍内科医、腫瘍外科医、癌生物学者、ゲノミクスの専門家、啓蒙活動を行う非政府組織、社会意識の向上に努める活動家から成る学際的なチームとして機能する。その目指すところは、乳がんを抱える世界の若年女性が直面する課題について、すべてとはいかないまでも、中心的なものに対応する革新的なソリューションを提供することである。

創立チーム



Rakesh Kumar, PhD
Emeritus Distinguished Professor
Cancer Research Institute
Himalayan Institute of Medical Sciences, SRHU, India
Scientific Director - GCBCYW



Luis Costa, MD, PhD
Professor and Director of Medical Oncology
Principal Investigator - Institute of Molecular Medicine
Lisbon Academic Medical Centre,
Portugal Scientific Director - GCBCYW



Sunil Saini, MBBS, MS
Professor and Director
Cancer Research Institute
Himalayan Institute of Medical Sciences, SRHU, India
Scientific Co-Director - GCBCYW



Sudeep Gupta, MBBS, MD, DM
Professor and Director
Advanced Centre for Treatment, Research and Education in Cancer
Tata Memorial Centre, India
Scientific Co-Director - GCBCYW



Masakazu Toi, MD, PhD
Professor - Breast Surgery
Graduate School of Medicine and Faculty Kyoto
University, Japan
Scientific Co-Director - GCBCYW



Tadashi Isa, MD, PhD
Professor and Dean
of Medicine Graduate School of Medicine and Faculty of Medicine
Kyoto University, Japan
Scientific Co-Director - GCBCYW



Vaishali Zamre, MBBS, MCh
Senior Consultant and Unit Chief
Rajiv Gandhi Cancer Institute & Research Centre, India
Scientific Co-Gandhi Director - GCBCYW



Shashwat Sharad, PhD
Principal Research Officer
Cancer Institute & Research Centre, India
Scientific Co-Director -GCBCYW

研究の焦点:乳がんとの闘い

GCBCYW のトランスレーショナルリサーチの中核は、胸部組織と生体体液を用いて、最先端のプロテオゲノミクスやエピジェネティクスの研究を通して、若年女性における孤発性および遺伝性の乳がんの細胞レベルの基盤への理解を深めることにある。チームのアプローチとしては、施設全体で標準的な手技を使用し、若年女性の乳がんの生物学的観点で、地理的・人種的および民族的な格差を含む多種多様な変数の影響について検討する機会を設ける。

意識向上の焦点：セルフプレストケアと早期発見

若年女性における乳癌の発生率は世界の多くの地域で上昇しているが、医療施設の手が届いている範囲は、疑わしい BCYW の症例のごく少数に限られている。そこで、我々の啓蒙活動のスピードアップを図ることが急務となるが、その内容とは、この疾患に対する意識を向上させること、女性の健康にとってのセルフプレストケアの意義を知らせること、患者の医療参加を推進すること、サバイバーシップを強化すること、乳がんは高齢女性の疾患に限られたものではなく早期発見こそが BCYW と我々との闘いのカギを握るものであることに変わりはないというメッセージを浸透させること、早期発見と意識向上の支援ネットワークを構築することである。

国際的な知識の共有

GCBCYW のミッションは、加盟施設間での学術的な交流を推進すること、がん医療の今後の見通しを立てるフォーラムを企画すること、研究や意識向上のためのアイデアの情報交換のために BCYW で最も緊急性の高い問題を考察し討議する会議を開催すること、乳がんサバイバーや患者支援団体に向けて彼らがたどってきた道のりや経験談をほかの人々に伝えるためのフォーラムを用意することである。

科学諮問委員会



Padma Bhushan Prof. Nirmal Kumar Ganguly, MD, PhD
Ex-Director General
Indian Council of Medical Research, India



Prof. Ferid Muard, MD, PhD
Nobel Laureate in Medicine
Stanford VA Research Institute, USA



Prof. Subrata Sinha, MD, PhD
Head of Biochemistry and Dean of Research
All India Institute of Medical Science - New Delhi, India



Prof. Robert Clarke, PhD, DSc
Executive Director - Hormel Institute
I. J. Holton Chair in Cancer Research, University of Minnesota, USA



Prof. Radhakrishna Pillai, PhD
Ex-Director, Rajiv Gandhi Center for Biotechnology, India



Prof. Sarawati Sukumar, PhD
Barbara B. Rubenstein Professor of Oncology
Sidney Kimmel Comprehensive Cancer Center at Johns Hopkins, USA



Prof. Keshav Singh, PhD
Joy & Bill Herbert Endowed Chair in Cancer Genetics
University of Alabama at Birmingham, USA



Prof. Pranela Rameshwar, PhD
Hematology-Oncology, Department of Medicine
Rutgers New Jersey School of Medicine, USA

意識向上諮問委員会



Lorna Larsen, (ローナ・ラーセン), RN, BScN, Team Shan (チーム・シャン) 会長 (カナダ)
Lorna は、公衆衛生とシニアマネジメントに関する専門知識を活かし、一般市民、医療従事者、若年女性に向けて乳がんの意識向上、早期発見、リスク教育、予防についての啓発に尽力する全国規模の慈善団体 Team Shan Breast Cancer Awareness for Young Women (Team Shan: チーム・シャン 若年女性の乳がんの意識向上) の会長職を務めている。
参照: teamshan.ca



Mary Farrell Ajango (メアリー・ファレル・アジャンゴ), MPA, ディレクター—Young Survival Coalition (ヤングサバイバル連合) アドボカシー&パートナーシップ担当ディレクター (米国)
1998年に設立された Young Survival Coalition (YSC) は、40歳以下で乳がんと診断された若年成人とその共同サバイバー支援ネットワークに特化した国際的な非営利団体である。YSC は、教育のリソースとプログラミング、年次会議のほか、現地やオンラインでの支援ネットワークを通し、若年成人が一人でも乳がんに対峙する環境を作らないことを目指している。
参照: youngsurvival.org



Catarina Vasconelos (カタリナ・ヴァスコネロス), BA, MA (ビジュアルコミュニケーション) (ポルトガル)
Catarina Vasconelos は国際的に絶賛されるポルトガルの映画ライター、ディレクターそしてプロデューサーである。ドキュメンタリー、短編映画、クリエイティブな作品で知られ、乳がん患者に影響を与える社会的な問題に対する関心も高い。パリ映画祭シネマ・デュ・レエル国際短編映画賞受賞作『鳥の変身』(2020年)ほか多数。

GCBCYW の加盟施設や関連団体は、若年女性の乳がんの知識向上を図り、予測バイオマーカーを発見し、地域や国内外のターゲット年齢層の女性の意識向上とサバイバーシップを推進している。



Swami Rama Himalayan University
स्वामी राम हिमालयन विश्वविद्यालय



CAML
CENTRO ACADÉMICO DE MEDICINA DE LISBOA



Rajiv Gandhi Cancer Institute
and Research Centre

TATA MEMORIAL CENTRE
ADVANCED CENTRE FOR TREATMENT
RESEARCH & EDUCATION IN CANCER



YSC | YOUNG SURVIVAL
COALITION®
Young adults facing breast cancer together

For more information and how you can help the GCBCYW's mission, contact: rakeshkumar@srhu.edu.in
www.srhu.edu.in/gcbyw